

**オミクロン株対応
新型コロナウイルス
接種を始めます**

オミクロン株対応ワクチンを接種できる体制を確保し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎます。

2億6665万7千円

Q オミクロン株対応ワクチンの接種はいつから始めるのか。

A 個別接種は10月1日から、集団接種は11月5日から始める。

Q 接種を受けるには。

A 現在5カ月間あける必要があるので、順次対象者へ接種券を発送する。3回目を接種していない方は、発送済みの接種券で申し込むよう案内する。

Q 対象が、1・2回目接種を完了した12歳以上の住民となっているが。

A 1・2回目接種をしていない方は、まず従来型のワクチンを接種する。

消防庁舎を改修します

老朽化した消防本部の庁舎を改修するための工事請負契約を承認しました。

4億1030万円

Q 制限付一般競争入札の内容は。また、行った理由は。

A 制限付一般競争入札とは、地域要件等一定の条件を付した上で入札を行うもの。

災害等で施設に被害が発生した場合、消防署は一刻も早く活動できる体制を整える必要がある。迅速に駆けつけ復旧作業を要請できる点や、業者自身の被災に対するリスク分散を考慮し、海部津島管内に事業所を設け、2・3社から構成される共同企業体を条件とした。



▲改修予定の消防庁舎

討論

令和3年度一般会計歳入歳出決算

賛成

バランスよく効果的な事業

新型コロナウイルス感染症関連事業として、ワクチン接種事業など、一般財源も組み込み安心安全な市民生活を支援した。

道の駅再整備事業及び周辺整備事業は、道の駅の拡大充実と公園整備で、観光財源を生み出す。

小中学校適正規模適正配置等検証事業では、よりよい教育環境の整備は、重要な政策であり、子どもを守る大人の責任だ。

コロナから市民を守る事業、市民の暮らしと安全を守る事業、市民のニーズに素早く対応した事業、将来を見据えた事業がバランスよく効果的に実施されている。

反対

基金を活用し施策の充実を

新型コロナウイルス対策では市役所、学校などへのクラスターを防ぐ定期的検査など市独自の感染対策や自宅療養者の支援がなかった。

緊急通報システム事業は、持病を勝手に要件に加え、家族介護用品給付事業は対象者を変更した。元に戻すべきだ。

道の駅再整備事業、周辺整備事業の過大な開発は見直すべきだ。小中学校適正規模適正配置等検証事業では、統廃合で立田、八開地区はいつそう人口減が進む。統廃合を前提にせず、小さな学校を生かすべき。基金を活用し、施策の充実を求める。

◆◆意見書◆◆

今定例会で次の意見書が採択されました。

▼定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

◆◆決議◆◆

今定例会で次の決議が採択されました。

▼愛西市の放課後児童クラブの終了時間延長に関する決議